

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記者発表資料  
平成20年7月22日  
環境創造局 環境活動推進部  
環境科学研究所 担当課長  
新宅 芳昭 電話 752-2605  
環境創造局 総合企画部  
環境政策課長  
古山 諭 電話 671-2686

## 昔のようなきれいな海を創ろう！

－山下公園前海域で水質浄化実験を始めました－

みなと横浜のシンボルである横浜港の水環境は、公共下水道の整備や事業場排水の規制などにより改善されてきましたが、依然として赤潮や悪臭の発生などの課題があります。

横浜港のさらなる魅力アップに向けて、昔のようなきれいな海を取り戻すためには、これまでの汚濁負荷削減対策に加えて、海が本来もっている海域生物の浄化作用の活用を図る必要があります。

そこで、環境創造局では、本年度の重点化粋事業の一環として山下公園前の海域において、海中生物の水質浄化能力を活用した水質浄化実験を開始しました。

また、この実験を通じて市民との連携を図り、市民とともに「きれいな海づくり」に取り組みます。

### 1 実験の概要

山下公園前海域の水質浄化実験は、水中スクリーンで縦80m、横40mの広さに海域の一部を仕切ることにより、赤潮や降雨時の濁水を遮断し、海中の生物による水質浄化を確認するものです。(裏面 図-1から3のとおり)

### 2 場 所

山下公園前海域(水中スクリーン内:約3,200㎡)

### 3 実験期間

平成20年7月17日(木)から平成21年3月末(予定)

### 4 水質浄化効果の確認

水質調査(透明度等)、底質調査(固形分等)、付着生物等の調査を実施します。

### 5 実験施設の公開等について

(1) 7月23日(水)、24日(木) 11時から16時:実験施設を公開

7月24日(木) 11時、13時、15時 :海中の実況中継

場所:山下公園実験施設前テント(図-1参照)

(2)小学生や市民とともに、海中生物を利用した水質浄化機材を製作し、海に設置します。

7月24日(木) 10時~12時

参加受付:山下公園実験施設前テント(図-1参照)。先着順15人程度。

作業時間は1時間程度です。

(生物浄化の進行に併せ、この他にも市民との協働の取り組みを行います。)

※1 取材については、当日報道受付にお越しください。

※2 天候等の理由により、内容を変更または中止することがあります。

(裏面あり)



図-1 水質浄化実験施設（水中スクリーン）の設置位置

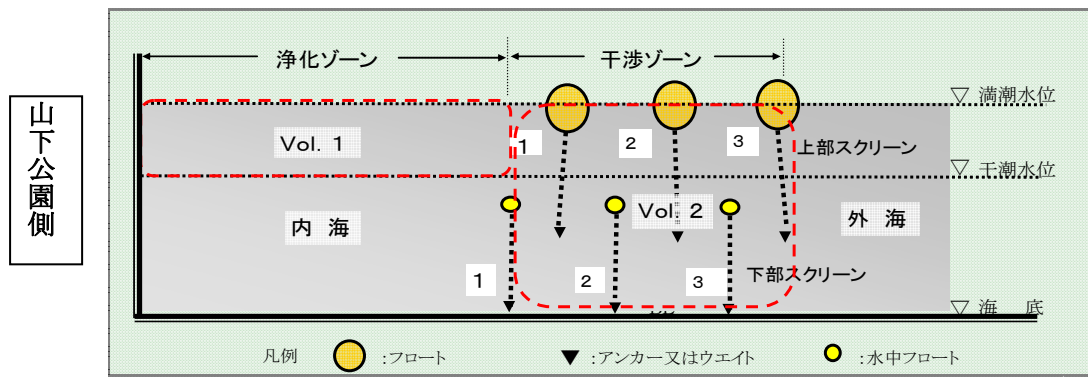


図-2 水質浄化実験の縦断面図  
干渉ゾーンで干満による海水の出入りを制限し、浄化ゾーン内での生物による水質浄化効果を高めます。

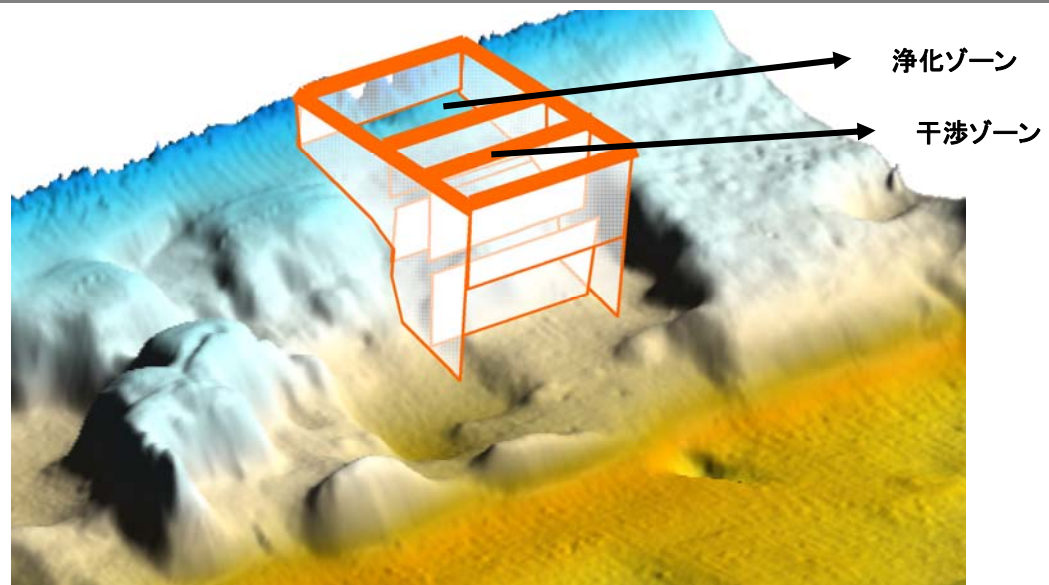


図-3 山下公園前海域の海底の測量結果を三次元画像で表現し、水質浄化実験施設（水中スクリーン）のイメージを書き込みました。